

# 令和3年度事業報告

令和3年度において実施した事業について、以下のとおり報告します。

## 第1 組織運営

### 1. 会員の異動状況

令和3年3月31日現在	243社
令和3年度入会会員	5社
令和3年度退会会員	1社
令和4年3月31日現在	247社

### 2. 総会、理事会等の開催

#### (1) 定時総会

第10回定時総会（出席及び書面による議決権行使により開催）

日時 令和3年6月10日（木）13:30～14:00

場所 農業土木会館 2階B会議室

報告事項 (1) 令和2年度事業報告について  
(2) 令和3年度事業計画及び予算について

決議事項 第1号議案 令和2年度収支決算報告について  
第2号議案 役員の改選について

#### (2) 理事会

ア 第1回理事会（書面評決）

日時 令和3年5月18日（火）

審議事項 第1号議案 令和2年度事業報告について  
第2号議案 令和2年度収支決算報告について  
第3号議案 役員の改選について  
第4号議案 専門委員の選任について  
第5号議案 寄附金制度の創設及び人材確保育成事業を継続実施するための寄附金の募集について  
第6号議案 創立50周年記念事業 JAGREE オンライン展示会ウェブサイト制作等業務委託契約について  
第7号議案 第26回参議院議員通常選挙に当たり候補者を推薦する件について

イ 書面表決理事会

日 時 令和3年9月27日(月)  
議 事 会員の新規入会(令和3年10月期)について

ウ 第2回理事会(出席及びWEBにより開催)

日 時 令和4年3月25日(金)  
場 所 農業土木会館 2階B会議室  
報告事項 ① 令和3年度事業報告(案)について  
② 令和3年度決算見込について  
③ 協会創立50周年記念事業支出について  
④ 人材確保育成事業に係る特定寄附金の募集結果について  
議決事項 第1号議案 令和4年度事業計画(案)について  
第2号議案 令和4年度収支予算(案)について  
第3号議案 定時総会の開催について  
第4号議案 会員の新規入会について  
第5号議案 再入会に関する特例措置について  
その他 (1)会費の値上げに関する検討について  
(2)役員を選任について

(3)委員会

ア 総務企画委員会

3回(5月10日、11月22日、3月14日に出席及び書面により)開催し、理事会及び定時総会の議案について審議した。

イ 広報委員会

3回(4月26日、7月28日、10月4日に出席及び書面により)開催し、会誌 JAGREE100号~101号、102号の編集方針の審議等を行った。

## 第2事業の概要

### 1. 調査研究等

#### (1) コンサルタンツ部門

コンサルタンツ幹事会を開催し、以下の主要な事項について調査及び検討を行うとともに、関係機関と意見交換を行った。

#### <主な調査・検討事項>

円滑な業務の実施及び品質の高い成果の提供を行うため、入札・契約方式やその運用に関する課題、業務執行上の問題点等について、会員へのアンケートによる実態把握調査を実施し、以下について検討を行った。

- ア 業務内容に応じた適切な入札契約方式（プロポーザル方式、総合評価方式、価格競争方式）の適用及び情報開示。
- イ 参加表明書・技術提案書等の重複資料の省略化、添付書類の削減と電子入札制度を生かした省力化及び低入札基準価格算定数値の引き上げ。
- ウ 機能診断の調査・設計業務に係る歩掛りについて、適用条件・補正係数等を現場実態及び作業実態にあった積算。
- エ 設計業務の打合せの配置人員を業務実態に合わせるとともに、旅費交通費積算に係る条件の明確化。
- オ 設計変更の適切な措置及び工事円滑会議に係る準備作業について作業実態に合った経費の計上。
- カ 業務環境の改善についてウィクリースタンスの確認の徹底及び情報共有システムの効率的な運用。

#### <主な報告事項>

実態把握調査結果をもとに、「調査・測量・設計」業務の品質確保等に関する改善方策について関係機関に提案を行った。また、地域建設コンサルタンツの活用、及び現場技術業務における現場技術員の労務管理に関する改善要望を行った。

#### 令和3年度 コンサルタンツ幹事会等開催状況

名称	開催日	構成(名)	開催回数
(1) コンサルタンツ幹事会	7月15日、11月17日、3月24日	8	3
(2) 意見交換会 農林水産省	7月15日、3月24日		2

## (2) 水利施設保全管理補修部門

### <主な調査・検討事項>

- ア 農業水利施設の補修・補強工事に関するマニュアル【水路トンネル編】及び【頭首工編】について関係会員の意見を集約し検討を行った。
- イ 中央研修会の開催、農業水利施設保全補修ガイドブック 2022 の編集方針等について検討を行った。
- ウ 農業水利施設の補修・補強工事に関するマニュアル【頭首工編】について、関係会員各社による査読を 12 月に実施し、修正意見等を農水省に要望した。

### <主な報告事項>

- ア 農業水利施設の補修・補強工事に関するマニュアル【水路トンネル編】について、農水省による説明会を 11 月 16 日に開催。（参加者：94 名）
- イ 農業水利施設の保全補修技術の効率的かつ効果的な利活用を推進することを目的に中央研修会を 11 月 19 日に開催。（6 講義、参加者 150 名）

### 令和 3 年度 水利補修部門幹事会等開催状況

名 称	開 催 日	構 成 (名)	開 催 回数
(1)設計・積算・施工幹事会	7月13日、2月22日	6	2

## (3) セメント製品部門

セメント製品幹事会、目地材WGを開催し、以下の主要な事項について調査及び検討を行うとともに、関係機関と意見交換を行った。

### <主な調査・検討事項>

- ア プレキャストコンクリート製品の活用促進。
- イ プレキャストコンクリート製品（フリーム水路等）の活用促進の課題となっている目地材について、WGを設置し目地材の性能品質・施工マニュアル等について検討を行った。

### <主な報告事項>

プレキャストコンクリート製品の活用促進に係る方策について検討を行い、関係機関に提案を行った。

令和3年度セメント幹事会等開催状況

名 称	開 催 日	構成 (名)	開催 回数
(1)セメント製品部会幹事会	7月29日、3月17日	7	2
(2)目地材WG	4月27日、8月6日、10月28日、 1月20日、3月8日	8	5
(3)意見交換会 農林水産省	9月8日		1

(4)ポンプ部門、鉄構部門、電機機械部門

<主な調査・検討事項>

ポンプ部門、鉄構部門、電機機械部門（施設機械3部門）における工事執行上の問題点等について、会員へのアンケートによる実態把握調査を行った。

<主な報告事項>

ポンプ部門、鉄構部門では、農水省が導入検討を進めるCMアットリスク型について検討を行うとともに、農水省と部門毎に12月9日、1月27日の2回にわたり意見交換会を行った。

(5)その他

ア 賃上げ加算措置に関する説明会（2月10日：WEB開催：参加61社220名）

農水省より発出された「総合評価落札方式における賃上げを実施する企業に対する加算措置についての運用」について、全会員を対象とした説明会を実施した。

説明者：農林水産省農村振興局設計課施工企画調整室（室長、担当官）

イ 水資源機構の予算・事業制度に係る説明会（2月15日：WEB開催：参加55社195名）

令和4年度予算概算決定において、当協会会員に係る水資源機構の事業（豊川用水施設及び愛知用水施設に係る支線水路施設も含めた改築事業）が認められ、その事業費は大規模となることから、全会員を対象とした当該予算及び制度に関する説明会を開催した。

説明者（水資源機構）

① 日置秀彦氏 副理事長

② 村瀬勝洋氏 水路事業本部水路事業部設計課長 ほか

ウ 事業促進 PPP（現場技術業務事業促進型）説明会（R3. 11. 24：WEB 開催：参加 30 社 82 名）

令和 4 年度から運用が予定されている事業促進 PPP（現場技術業務事業促進型）については、農林水産省よりパブリックコメントが行われたが、その内容が分かりにくいとのご意見が散見されたことから、コンサルタント部門の会員を対象に農林水産省による説明会を開催した。

説明者

農村振興局設計課施工企画調整室（室長、担当官）

エ CM 方式（農業農村整備事業における CM 方式アットリスク型工事の導入について）説明会

農林水産省が、農業農村整備事業において CM 方式アットリスク型工事の導入を検討しているとの事から、この施策に関係するポンプ部門及び鉄構部門の会員を対象に、農林水産省による説明会を開催した。

説明者

農村振興局設計課施工企画調整室（室長、担当官）

第 1 回（R3. 12. 9）

会場…機械振興会館

参加…ポンプ部門 9 社 35 名、鉄構部門 10 社 20 名

第 2 回（R4. 1. 27）

WEB 開催

参加…ポンプ部門 9 社 21 名、鉄構部門 9 社 17 名

## 2. 研修等

### (1) 農業水利施設機能総合診断士制度

既存の農業水利施設の機能維持及び保全管理を図るため、農業水利施設機能総合診断士（機能総合診断士）のオンデマンド方式 Web 講習会及び認定試験を実施した。また、機能総合診断士制度を適切に運営するため、資格制度運営委員会、講習委員会及び試験委員会を開催した。

ア 講習会・認定試験の実施

令和3年度 講習会・認定試験実施状況

名 称	開 催 日	申込者数 (名)
Web 講習会	10月1日～10月30日	39
認定試験	東京会場	11月27日
	京都会場	11月27日
	福岡会場	11月27日

認定試験結果：受験者数 66名 合格者 17名 (合格率 25.8%)

農業水利施設機能総合診断士合格者 累計 795名

イ 関係委員会の実施

令和3年度 関係委員会開催状況

委 員 会 名	構 成 (名)	開催回数
資格制度運営委員会	7	2
講習委員会	9	2
試験委員会	8	5

ウ 新規登録及び登録の更新

試験合格者の登録申請により、新規登録を行い登録証書を交付した。

また、今年度有効期限を迎える登録更新申請者の登録更新を行った。

なお、更新に当たっては、提出された業務経験等レポートを審査し、一定水準に達した者について更新を行った。

新規登録者 20名、更新登録者 89名

総合診断士登録者 654名

エ 登録者名簿の公表

診断業務に機能総合診断士の有効活用を図るため、「農業水利施設機能総合診断士登録者名簿」を作成し、ホームページで公表した。

(2) 農業水利施設補修工事品質管理士制度

農業水利施設の補修工事の施工及び施工管理に関わる現場技術者を育成するため、農業水利施設補修工事品質管理士（品質管理士）のオンデマンド方式 Web 講習会及び認定試験

を実施した。また、品質管理士制度を適切に運営するため、資格制度運営委員会、講習委員会及び試験委員会を開催した。

#### ア 講習会・認定試験の実施

##### 令和3年度 講習会・認定試験実施状況

名 称	開 催 日	申込者数 (名)	
Web 講習会	6月7日～27日	84	
認定試験	仙台会場	7月17日	67
	東京会場	7月17日	16
	京都会場	7月17日	30
	熊本会場	7月17日	13

認定試験結果：受験者数 126名 合格者 85名 (合格率 67.5%)

農業水利施設補修工事品質管理士合格者 累計 1,413名

#### イ 関係委員会の実施

##### 令和3年度 関係委員会開催状況

委 員 会 名	構 成 (名)	開催回数
資格制度運営委員会	7	2
講習委員会	9	1
試験委員会	5	1

#### ウ 新規登録及び登録の更新

試験合格者の登録申請により、新規登録を行い登録証書を交付した。

また、今年度有効期限を迎える登録更新申請者の登録更新を行った。

なお、更新に当たっては、WEB 講座の視聴及び実務経験等レポートの提出のあった者について更新を行うとともに、継続教育の観点から、今年度より更新者に対して講習会テキストの提供を行った。

新規登録者 81名、更新登録者 144名

品質管理士登録者 1,082名

#### エ 登録者名簿の公表

補修工事の品質管理及び施工管理に品質管理士の有効活用を図るため、「農業水利施設補修工事品質管理士登録者名簿」を作成し、ホームページで公表した。



### (3) JAGREE セミナー (WEB 開催)

会員企業技術者の技術力向上を支援するため、新たに WEB セミナーを企画し、令和 3 年度は 2 回開催した。

#### 第 1 回 R3.10.15 (参加者 149 名)

講演内容及び講師

##### ① 新たな土地改良長期計画について

農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室長 松本 勉 氏

##### ② ほ場及び広域を対象とした ICT を活用した水管理システムの現状と課題

農研機構農村工学研究部門 水利制御グループ グループ長補佐 中矢哲郎 氏

#### 第 2 回 R4.2.2 (参加者 111 名)

講演内容及び講師

##### ① 気候危機のリスクと社会の大転換

国立環境研究所地球システム領域副領域長 江守正多 氏

##### ② 農業農村整備に関する技術開発計画について

農林水産省農村振興局整備部設計課施工企画調整室長 志村和信 氏

### 3. 図書刊行事業

「農業水利施設保全補修ガイドブック 2020」、「農業水利施設補修工事のためのガイドライン」、「鉄筋コンクリートフリーフォーム規格」等 14 種類の専門図書を頒布した。

### 4. 新型コロナウイルス感染症及び気象災害等への対応

#### (1) 新型コロナウイルス感染症

会員との情報共有

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に関し、農林水産省が発出した工事又は業務の一時中止措置等に関する通知等について、累次地方協会を通じて会員企業へ情報提供を行った。

#### (2) 気象災害等への対応

ア 「災害時の応急対策業務に関する協定書」第 4 条に基づく対応

「災害時の応急対策業務に関する協定書」の第 4 条（業務の実施体制等）に基づき、今年度の連絡体制及び実施体制を定め地方農政局長に報告するとともに、土地改良施設である排水機場の地震等の大規模な自然災害の発生に備えた。

イ 令和 3 年梅雨前線豪雨への対応

令和 3 年 7 月の梅雨前線豪雨災害に関する鹿児島県さつま町の災害復旧事業について、「災害時における地方公共団体が行う農地・農業用施設災害復旧事業等に対する復

旧支援に関する協定書」に基づき、農村振興局長から当協会会長あてに支援要請（令和3年10月18日）があり、地方協会を通じて、会員企業2社へ協力要請を行った。

## 5. 協会創立50周年記念事業

以下の事業をもって、協会創立50周年記念事業を終了する。

### (1) 記念式典

#### ア 記念式典の中止

新型コロナウイルスの感染拡大により、当初予定されていた式典（令和2年10月29日）を延期して令和3年6月10日に実施することとし準備を進めていたが、その後も緊急事態宣言が発出されるなど状況が改善しなかったことから、5月7日に記念式典を中止することとした。

#### イ 中止に伴う対応

中止に当たっては、以下の対応を行った。

- ①会長式辞、来賓祝辞及び記念表彰受賞者名簿等を掲載した式典資料を作成し、これを会員へ送付した。
- ②表彰者へは表彰状を郵送した。

### (2) 人材確保育成事業

#### ア 2021年度農業農村工学会賞「メディア賞」を受賞

制作した2つのプロモーションツール（農業農村工学への関心や興味を惹起する動画「農業農村工学の世界」と、これを解説するパンフレット「地球規模で考え、現場で実践せよ。」）が、2021年度農業農村工学会賞「メディア賞」を受賞した。

#### イ 農業農村工学プロモーションツール普及活動

令和2年度に制作、配布するとともにWEBサイトを公開した動画「農業農村工学の世界」と、これを解説するパンフレット「地球規模で考え、現場で実践せよ」について、令和3年度については、7月に小冊子（4,000部）を増刷し、オープンキャンパス需要等により配布要望のあった大学等へ追加配布した。また、特設WEBサイトも継続して公開した。なお、令和3年度における人材確保育成事業の費用については、会員企業からの寄附を募りこれに充てた。

### (3) 企業技術PR事業

本事業については、令和2年度、創立50周年記念展示会として農業農村工学会大会及び全国土地改良大会の企業展示との共催で開催を計画していたが、農業農村工学会大会講演会はWEB開催となり、また全国土地改良大会もWEB開催となったことから、記念展示会を開催することができなかった。

このため、「創立50周年記念 オンライン展示会「JAGREE ONLINE EXPO」」と題し、令和3年10月14日～令和4年3月31日の間、オンラインにより開催することとした。

展示内容は、会員企業各社における農業農村整備との関わりや各社の企業理念・企業価値のPR資料及び商品やサービスの認知拡大のための広告も組み合わせたものとなっており、出展企業は40社である。

## 6. 主な行事、広報活動等

### (1) 広報活動等

#### ア 会誌 JAGREE の発行

会誌 JAGREE100 号及び 101 号を 2,000 部発行し、会員及び関係機関、団体へ配布した。

#### イ 会員名簿の発行

協会各 8 部門の会員企業名等を掲載した令和 3 年度版会員名簿を作成・配布した。

### (2) 地方協会活動への参画と支援

#### ア 地方協会活動への参画

地方協会が実施する総会、研修会、要請活動等への参画については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、いずれの事業も縮小もしくは書面による開催等となり、参画の要請がなかった。

#### イ 各地方農業土木事業協会合同提案会の開催

地方協会が令和 2 年度に行った地方農政局への要望提案事項をとりまとめ、この内容について各地方協会担当者と農林水産本省及び地方農政局の設計課とが意見交換を行う「各地方農業土木事業協会合同提案会」を（R3. 7. 2）オンラインで開催した。

また、「農林水産省発注の調査・設計業務における地域建設コンサルタントの活用に関する要望書」を、本省幹部を訪問（R3. 11. 18）し直接提案した。

### (3) 関係機関、団体活動への協力

（公社）農業農村工学会、全国農村振興技術連盟等が主催する研修会に参加した。また、（公社）農業農村工学会、（一社）農業農村整備情報総合センター、日本 IC I D 協会の会員として活動に参画した。

### (4) 情報連絡会

例年 9 月及び 3 月、農林水産省の協力を得て、農業農村整備事業予算及び業務・工事等の実施に関する意見交換会を開催してきた。今年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、ウェブセミナー方式により開催した。

第 1 回（R3. 9. 16：参加 59 社 123 名）

講演内容及び講師

- ①農業農村整備事業の令和4年度予算等最近の情勢

農林水産省農村振興局整備部長 川合規史 氏

- ②調査・測量・設計業務及び工事等関係の動向について

農林水産省農村振興局整備部設計課施工企画調整室長 志村和信 氏

第2回 (R4.2.28 : 参加72社194名)

講演内容及び講師

- ①農業農村整備事業の令和4年度予算等最近の情勢

農林水産省農村振興局整備部長 川合規史 氏

- ②調査・測量・設計業務及び工事等関係の動向について

農林水産省農村振興局整備部設計課施工企画調整室長 志村和信 氏